



# 芽生え

第27号

越谷地区更生保護女性会だより

大沢地区センター



「住んでいてよかつた」  
「住み続けたい」まちを目指して

越谷市長

福田

日頃から、染谷会長様をはじめ、越谷地区更生保護女性会の皆様には、女性の視点・立場から地域に寄り添い、犯罪や非行をした人の更生を支える活動をはじめ、社会を明るくする運動強調月間「愛の募金活動」やミニ集会など、日夜、様々な活動に献身的に取り組まれておりますことに、衷心より敬意を表しますとともに、市政進展に多大なご尽力を賜り、深く感謝を申し上げます。

本市といたしましても、引き続き、越谷市再犯防止推進計画に基づき、関係機関との連携により「社会を明るくする運動」等を実施し、それぞれの立場で協力することで、安全で安心な地域社会を創出してまいりたいと考えております。犯罪や非行のない明るい地域社会の実現とともに、市民サービスの更なる向上を図ることで、市民の皆さんに「住んでいるよかったです。また越谷」「住み続けたいまち越谷」と感じていただけるようなまちづくりに努めてまいりますので、皆様には、変わらぬご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、越谷地区更生保護女性会のますますのご発展と、皆様のご健勝を心よりご祈念申し上げます。

## 令和4年度総会

令和4年度総会は、5月16日（月）に中央市民会館劇場においてコロナ感染防止対策を徹底の上、会員数240名中225名（内委任状160名）の出席のもと、令和3年度の事業報告・決算報告・監査報告並びに令和4年度の事業計画案・収支予算案が原案通り承認されました。

また、本年度も対面式での開催となり、越谷市役所福祉総務課長藤波孝之様のご臨席並びに越谷市社会福祉協議会長杉本昭彦様から祝メッセージを賜りました。



なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、全体研修会は中止とさせていただきました。

## 第72回 社会を明るくする運動

毎年7月中を「社会を明るくする運動強調月間」及び再犯防止啓発月間として、全国で同運動を展開しております。

令和4年7月1日（金）第72回では、南越谷駅頭での広報・啓発活動が社明推進委員長である市長を中心に保護司・更女会員等で行なわれました。

南越谷駅南口のみで行い、他の駅頭啓発活動は中止となりました。

また、7月15日（金）の音楽と講演のつどいでは、越谷市消防音楽隊の演奏があり“ハイヤーマン”“ダイナマイト”“花は咲く”等、講演は「特殊詐欺・闇バイト」彼らの取り巻く現状を越谷警察署生活安全課少年係係長高野将弘氏のお話で、青少年達をことばたくみに使い、高齢者から金銭を奪う内容に驚きと恐怖を感じました。



2022/07/01



## 越谷市民まつり

平田 妙子

今年の市民まつりのテーマは「あんしん・調和・明るいまちづくり」ふるさとこしがやを感じられることを目標に、レイクタウン駐車場と、市役所及び中央市民会館周辺と、二つの会場に分かれての開催でした。私は会員の皆様から献品していただき、手作り品等を販売し来場された方々と交流しながら楽しく参加、4月7, 9月10円の売上げがあり、ご協力に感謝します。二つの会場に分かれた関係の人も以前通りとは行きま



せんでしたが、コロナ禍での久し振りのまつりに子供さん連れの家族が楽しんでいる様子に私達もエネルギーをいただきました。来年も会員の皆様を含め多くの方々との出会いを楽しみたいです。

## 地区防災訓練に参加

小林豊代子

2月5日（日）地区防災訓練に参加しました。コロナ禍を気遣い各自治会より数名の参加となりました。久しぶりに消火器放水体験・三角巾を使ったケガの応急処理・心肺停止対応に参加しましたが、間違えた対応をした方もおり、改めて「日頃の訓練」大切な事を痛感しました。災害対応では一人では限界があります！大勢の協力が地域の災害予防とコミュニティ集団訓練の良さですね。

## 令和四年度会長研修 代表者実務研究会

染谷登士子

令和五年二月二十一日と二十二日に長瀬町長生館にて、開催されました。今日迄コロナ禍の中で、三回も中止になつており、今回の研修は実のある研修になつた事と思います。一日目は午後二時から開会され本橋会長の挨拶から始まり、DVD研修「夕焼け」を感傷した。「ヤングケアラー」の少女のお話でした。統いて各プロック

討議となり、テーマは幾つかあり、各プロック別の発表がありまして、どこの地区でも会員の減少問題でした。高齢化の為会員の減少、会員を増すには、民生委員、保護司の奥さん、PTA経験者の人達に声かけをしているとの事でした。二日目は午前九時から始まり、研修報告がそれぞれあり、統いて、第六回理事会が開催され、各プロック研修当番の確認があり、東プロック研修は越谷地区の当番で、九月十五日（金）に開催されます。又誕生会では、さいたま拘置支所の当番にあたります。令和五年七月の予定になつております。地域情報交換等をして閉会となりました。帰りには車窓から秩父の山々を眺めながら帰途に着きました。



## 令和四年度支部活動から

新型コロナウイルス禍の中、思うように活動できない状況ですが、地域の皆様方にご協力をいただき「愛の募金」活動等を実施できました事に深くお礼申し上げます。

### 大沢支部

昨年より、大沢地区活動団体に加入し、同地区内の活動団体「子ども食堂沢っ子」への協力を引き継ぎ行いました。

支援金に加え、毎月子ども食堂にの食材協力として、季節の野菜を提供しています。

市内の農家さんの協力により大量の野菜が届いた時は、子ども食堂スタッフの皆さんのが工夫して、

### 冷凍保存

### をして食

### 材を大切

### に使つて

### いる努力

### にも嬉しく

### 思つてお

### ります。



### 桜井支部

4月22日（金）、地域包括支援

ネットワーク会議がコロナウイルス感染予防対策が徹底される中開催されました。社会福祉協議会の松原愛城様の「コロナ禍での地域活動」として、①ふれあいサロンの現状、②ボランティア活動の現状、③市内各地区の取り組みの紹介。

次に、会の川自治会健康体操会会長の坂東一美様の「コロナ禍における会の活動について」。

続いて、桜井笑顔の会の川村耕治様より、高齢者の訪問型生活支援有料ボランティアについての紹介報告がありました。

11月25日（金）、弥栄医院・朴宗晋先生の「人生会議・ACPについて」もしもの時のためにまた自分らしい最後を迎えるために、前もって医師や家族などと話し合つておいたり、意思表示をノートに書いておく事も大切なという講演と、医療と介護の連携窓口から野上めぐみ様の講話もあり、大変勉強になりました。

### 大相模支部

今なおコロナ禍ですが、感染対策を取りつつ青少年指導員のパトロール、スポーツ推進委員・コミ

協会員の諸活動、公民館事業の家庭教育学級に参加しました。例年、市民まつりに参加しています。

募金を目的としたバザー作品づくりを案内したところ、十六名の参加があり、十月五日に感染対策を行なう実施しました。蓮の果托に和布で細工をして色とりどりの作品ができました。作業を通して会員同士の親睦が深まり、今後の活動をより充実したものにつなげていきたいと思います。

今年度はコロナウイルス感染が収束し、以前の様に活動出来ますよう願っています。



### 出羽支部

今年度の夏休み工作教室は中止となりましたが、規模を小さくしての催し物の中、8月29日（月）地域包括支援ネットワーク会議では、「人生会議 ACP」アドバанс・ケア・プランニングの前もって自分の最終段階の医療や介護などを家族等と話し合つておく事が大事だと知らされました。

11月20日（日）には出羽ふれあいフレンドパークにコミ協の文化伝承部会として元荒川と綾瀬川の歴史・成り立ちについて調べたものをパネルに掲示・発表いたしました。

今年度もコロナ禍のため中止される行事が多く、来年度こそは一つでも多く実施されることを心から願っております。

また、愛の募金では地域の皆様にご協力いただき感謝申し上げます。



新方支部  
がとうございました。  
市民まつり等、自治会連合会、保生保護女性会より多大な募金ありがとうございました。



永く続くコロナ禍の日々。密を避け、コミ協委員として2名が参加、さつまいも、蕎麦等の農園事業、暮れのクリーン作戦に参加しました。5月には、さつまいも苗の植え付け、生育時の手入れ、つる返し、秋には収穫順序で天候に恵まれ大きな芋が収穫、ほっこほこの蒸かしいもを皆なで頂きました。8月には蕎麦の種まき、手入れ、11月刈り取り、懐かしい機械を使っての作業粉挽。今回はそば打ち体験まで出来、家で茹でおいしく頂きました。



りには更生保護女性会員皆さんからのお品を頂き市民まつり会場にて出店し大きな収益を上げる事が出来ました。ありがとうございました。

#### 増林支部

新型コロナウイルスが発生して3年。感染拡大防止のため各行事事業が中止となっています。

私達増林支部も、各行事、事業に参加、協力することが少なく歯がゆい思いをしています。

そんな中、更生保護女性会のメイン事業である「愛の募金」に協力できただけが励みとなっています。各自治会、地域の皆様に感謝申し上げます。

平成29年秋からスタートした介護予防体操教室は、6年目に入りました。参加している85歳の女性は「ここに来るのが、一番の楽しみなんだ」と笑顔で話してくれる。更生保護女性会増林支部として、これからも地域に根ざした活動を続けて生きたいと思います。

令和5年度は、コロナ禍の中でも少しづつ各行事、事業が開催されることを強く願っています。

#### 大袋支部

大袋地区は令和二年度から、コロナウイルスマん延により活動がすべて中止となり、何も活動できませんでした。

しかし、愛の募金運動に対しては、千間合地区、恩間地区、大竹地区、袋山地区の自治会の方々に、又、会員の皆さんにも協力していただき心から感謝致しております。

これから支部の活動について会員の皆さんのが高齢化ということもあり、若い方々に入会していただきたいと思います。

#### 越ヶ谷支部

コロナ禍の中、今年もミニ集会も研修会も出来ませんでしたが、愛の募金は各自治会長様のご理解ご協力をいただき本当にありがとうございます。

から越ヶ谷地区のミニティ推進協議会に参加させていただけ、ふれあい部会に所属、地



域の方々と「心ふれあうまちづくり」に一緒に活動していきたいと思っております。

#### 萩島支部

今年度も引き続き感染防止に努めて、4月「支部総会」予定通り開催。7月「愛の募金活動」地域・自治会の皆様のご協力を戴き実施できました。感謝申し上げます。

その後の感染状況から地区コミ協の各事業が相次いで中止となる中、環境部会の活動に参加。

○花いっぱい運動、末田用水沿いの花壇の手入れ、土のにおいに包まれて地域の皆様と花植え。

○こども農業体験、春にお米の苗を田んぼに植えて、大きく育った稻を皆様と稻刈りする光景は美しい秋の収穫作業でした。

○地区包括支援ネットワーク会議「人生会議」に出席。



## 中堅会員研究協議会に参加して

平川 好子

10月31日、越谷地区からは3名（染谷・平川・浅見）が出席いたしました。

今回は『地域との連携を図った実践を通して、未来に向けた「更生保護女性会活動」の在り方を学ぼう』と題してのパネルディスカッションで、コーディネーターに幸島 脇氏（日本更生保護協会から）にお越し頂いて、パネリストとして3名の方に実例を発表していただきました。

。飯能地区更女会

吉澤千嘉子会長

「ミニ集会開催マニュアル」

。さいたま地区更女会

小糸 待子会長

「清心寮での絵手紙交流」

。北本地区更女会

高松千恵子会長

「S A R Aちゃん食堂（子育て支援活動事業）立ち上げについて」

それぞれを、自分達がこれまでどのような活動をしてきたのか、これからどのような形で伝え、引きついで行ってほしいのかなど力

いっぱい発表されました。

そして、コーディネーターの幸島氏からは、子どもの気持になつて「できたらいいな！」というように素直に表現していくことが大事というコメントがあり、3人のパネリストのラストメッセージは吉澤会長「重心の気持を持つて

地域とつながっていきたい」小糸会長「若いママ達の話を井戸端会議の中に生かしていく」

高松会長「子ども食堂を始めた最初の時に得られた至福の時を忘れない」

とのことばで、この研究協議会は終了いたしました。

これからの中堅会員研究協議会として原点に立ち返る新たな要因となり、会員同士のつながりとして日々地道に活動を続けて行く上で的確なアドバイスをいただけだと

思いました。これからの中堅会員研究協議会に生かして行きたいと思います。



## 令和4年度新会員研修

令和5年2月2日さいたま共済会館

大相模支部 豊田 美恵

令和元年に更生保護女性会に加入してからコロナ禍により様々な活動が中止を余儀なくされ、延期されていた新会員研修に参加する事が出来ました。ありがとうございました。

今までボランティアで更生保護の活動をしている方がいる事を理解できずにいました。保護司も職業だと誤解しておりました。

更生保護女性会は、活動の源を辿ると明治時代とか、現在の組織については戦後の荒廃した社会の中で犯罪に巻き込まれてしまう青少年を守ろうと女性達が行動を始めた事がスタートとか、また会員規模の団体で十五万人の会員が自主的なボランティアをされていることを知り敬服致しました。

活動も様々で埼玉県の地区更生保護女性会では、小・中学校での挨拶や見守り活動、アクリルたわしや手作り雑巾を寄付、子ども食堂や清心寮の運営努力、川越少年刑務所へ月一回花を持参し受刑者と懇談したり、「社会を明るくす

る運動」強調月間の七月には、駅頭キャンペーンや愛の募金活動等多岐に渡る事を知りました。

犯罪の更生とか再犯をなくすためのボランティアとか、今まで自分には無関係でした。今もそんな気持ちです。そんな私が、更生保護女性会の活動で一体何ができるのかと考え心配でした。けれど身近な美化清掃のボランティアに置きかえてみました。美化清掃にはゴミを拾うボランティアとゴミを捨てさせない取り組みがあると思います。今まで私が行なっていたのはゴミを拾う事でした。更生保護女性会はみんながゴミを捨てない社会を自覚して活動を続けられている。そう考えると、私にも何か出来る事があるのではないかと思いました。むずかしく考えずに、先輩方に教わりながら活動して行きました。



## 令和4年度役員理事研修会

鈴木 宏子

令和4年11月9日、43名の役員理事が出席し標記研修会が開催されました。講演会には、講師として越谷ハートフルクリニック院長の佐藤陽二先生にお願いしました。テーマは人生会議という重いタイトルでした。人生100年と言われますが、元気で長生きは理想でいつも幕引きを迎えることになります。

講演会の中で人生の終末期ではほとんどの人が意思表示が出来なくなると聞いております。その時



あなたはどうしたいですか?と問われたら私は自分自身の事はある程度家族に伝えているので充分だと軽く考えていましたが、それ文では不十分であることが分りました。人生会議を聞き家族と何度も何度も話し合いながら自分の意思表示ノートを作つておく事そこには終末期を迎えた時、医療機関ではどのような処置をして頂くか、家族に伝えた事等を記して置く事が大事だと思いました。又、人は時が経つと意志が変わる事がありますので、その都度話合いをして意志を確かめあって置く事が重要であると思いました。

## 第69回埼玉県更生保護大会

埼玉県更生保護大会が令和四年十一月二十五日(金)、戸田市文化会館において開催されました。

今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止の為規模を縮小して行われ、更生保護女性会から各会長の方々そして今年度受彰された方を代表して法務大臣感謝状及び日本更生保護女性連盟会長表彰の受彰者に伝達されました。

又、ご来賓の方からの祝辞があり、多数の方々からの祝電のご披露がありました。今回も講演は行われず閉会となりました。

令和五年度は本来の更生保護大会が開催されますよう願っております。



## 祝成人（越谷地区在住）

令和4年度は、男子保護観察対象者が3名、女子保護観察対象者が1名が成人式を迎えるました。担当の保護司さんを介してお財布をお祝いの言葉を添えてお贈りしました。

## 埼玉県更生保護女性連盟による「受彰者を祝う集い」が開催されました

大相模支部 浅見 英子

令和五年一月十八日、さいたま市のザマークグランドホテルにおいて、令和四年度に関東地方更生保護女性連盟会長表彰以上の表彰を受彰された方々、及び長年地区会長として、ご尽力いただき退任された方々と「受彰者を祝う集い」が安心安全なコロナ感染対策を踏まえて開催されました。

越谷地区からは染谷会長と私の二名で出席しました。他プロックの方々との交流ができ有意義な会でした。



## 顕彰伝達のつどい

1月19日（木）越谷市中央市民会館において、顕彰伝達のつどいが行なわれました。表彰・感謝状の皆様へ染谷会長より賞状が手渡されました。

## 令和4年度 愛の募金報告

募金総額 1,146,980円

内訳

○県連盟納入金	286,000円
○地区活動費	746,282円
○支部活動費	114,698円

各自治会、企業、保護司、会員及びご協力をいただいた皆様方へ厚くお礼を申し上げます。  
ありがとうございました。

## おかげでとうございました

・関東地方更生保護女性連盟会長表彰（敬称略）

浅見 榮子（大相模）

・さいたま保護観察所長感謝状（5名）

熊谷美重子（大沢）、鈴木 弘子（大袋）、

三輪 正子（増林）、加藤 トシ子（大相模）、

野口 洋子（出羽）

・埼玉県更生保護女性連盟会長表彰（6名）

坂田 康子（越ヶ谷）、小林豊代子（大沢）、

土川 博子（増林）、中村 孝子（大相模）、

竹崎眞佐子（出羽）、服部きみ江（荻島）

・地域安全功労者感謝状（5名）

渡辺 節子（越ヶ谷）、青柳 公枝（大沢）、

藤原 明代（新方）、中村 絹子（増林）、

松澤いさ子（荻島）

令和5年度は越谷地区発足60周年になります。これまでの諸先輩長引くコロナ禍で思つた活動が出来ないなか、各支部工夫をしながらの活動でした。今年の干支、兔の様に飛躍の年になりました。今年の行動は、敏捷、活潑、繁殖力はそこぶる大。敏

## 編集後記

- 一、第一回役員理事会
- 二、4月15日（月）中央市民会館総会・全体研修
- 三、7月1日（土）中央市民会館劇場社明大会
- 四、9月15日（金）中央市民会館「音楽と講演のつどい」
- 五、10月15日（金）中央市民会館東プロック研修会
- 六、10月22日（日）市民まつり
- 七、11月21日（火）戸田市文化会館第70回埼玉県更生保護大会
- 八、新年会  
令和6年1月